

# ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2016年9月

## ISO/TC 61/SC 5 (物理・化学的性質) 分野における日本の規格開発の状況

ISO/TC61/SC5 では、プラスチックの物理・化学的性質の試験方法に関する規格の制定・改正が行われており、現在、管理下に90の規格がある。TC61/SC5の幹事国はドイツ(DIN)であり、国際議長は長らくスイスが担当していたが、2016年7月よりドイツとなった。SC5傘下で活動中の作業部会(WG)を表.1に示す。

表.1 TC61/SC5の傘下のWG

WG	コンビナー	名称
5	ドイツ	粘度
8	ドイツ	熱的性質
9	韓国	レオロジー
11	オランダ	分析手法
22	日本	生分解性プラスチック
23	アメリカ	バイオベースプラスチック

WG22では、日本人が長い間コンビナーを担当してきたが、退任にあたり、次期コンビナーの国際投票が行われた。結果、引き続き日本人がコンビナーを担当できることとなった。

TC61の年次会議が毎年開催される。そこでは、ほとんど全てのSC及びWGの会議が開催され、審議が行われる。日本からは毎年多数(50~60人)のメンバーが参加している。

昨年2015年度は10月5日~10月9日にインドのニューデリーにて年次会議が開催された。2016年度は、9月19日~9月23日にドイツのベルリンにて開催することが決まっている。因みに、2017年度は韓国、そして2018年度は日本にて開催する予定となっている。

日本提案の規格開発を中心に、以下にWG別に開発状況及び今後の取り進めについて報告する。

### 1. 粘度 (WG 5)

日本よりISO 2555(液状又は乳濁状樹脂の回転粘度計による粘度の測定)の改正を提案し、現在CD投票を実施中である。9月のTC61ベルリン会議にて、投票結果について審議し、次段階(DIS投票)への進捗を図る予定である。

### 2. 熱的性質 (WG 8)

日本提案の温度変調DSCに関する規格案件の5部構成のうち、「第1部:通則」は現在DIS投票中(DIS 19935-1)であり、「第2部:比熱の精密測定」もNP投票中(NP 19935-2)である。いずれも、投票結果についてベルリン会議にて審議し、次段階への進捗を予定している。

また、測定精度を検証するため、ラウンドロビンテストを実施中である。加えて第3部以降のワーキングドラフト(WD)の作成も計画している。

### 3. レオロジー (WG 9)

日本より「一定昇温法による流動特性の求め方」の予備提案を行い、NP投票(NP 20374)が実施

された。結果は、積極賛成国数の不足により提案は承認されなかった。現在、対策を検討中である。ベルリン会議にて積極賛成国を募る、あるいは修正 WD にて再度 NP 投票を行うことが考えられる。

#### 4. 分析手法 (WG 11)

日本提案の「MALDI -TOF-MS によるポリエチレングリコール誘導体の平均分子量及び混合比の求め方」については、現在 DIS 投票を実施中である。ベルリン会議にて投票結果について審議し、FDIS 投票進捗の承認を得る予定である。

#### 5. 生分解性プラスチック (WG 22)

現在 3 件の「水又は海水中における生分解度の求め方」に関する案件が制定又は改正途上にある。「海水/砂状堆積物境界でのプラスチックの好気生分解」に関する ISO 19679 及び ISO 18830 は、いずれも現在 FDIS 投票中である。ISO 14853「水系におけるプラスチックの嫌気生分解」は FDIS 投票にて承認され、近々発行の見込みである。

#### 5. バイオベースプラスチック (WG 23)

「バイオベース度の求め方—第 4 部：バイオベース度の求め方」(ISO 16620-4) は DIS 投票で重要なコメントが提出されたことにより、再度 DIS 投票を実施し、賛成多数であった。また、「第 5 部：バイオベース度等の宣言」(ISO 16620-5/日本共同提案) は、現在 DIS 投票中である。いずれも、ベルリン会議にて、投票結果及び発行について審議される。

日本は、「炭素および環境価値の表明方法 (カーボンフットプリントの求め方)」の提案を計画している。ベルリン会議にて予備提案をし、その後 NP 投票を実施する予定である。

#### 6. マイクロプラスチック (AHG 1)

マイクロプラスチックに関わる WG を設立したいとのドイツの提案に対応して、現在 AHG (アドホックグループ) にて、スコープや作業内容について検討している。

マイクロプラスチックは近年の海洋における環境問題として注目を集めている。第 1 回の AHG 1 会議は、2016 年 4 月にベルリンにて開催され、日本からも参加した。第 2 回は 9 月の TC61 ベルリン会議にて開催される予定である。

以上